

秋の市民登山会 狩場山登山 平成24年10月14日(日)

午後から天気が崩れるというのが前日の天気予報だった。しかし、こちらで雨が降っていても登山をするかしないかは現地に行って判断はいつものことだ。

午前4時に岡志別の森運動公園を出発。途中、伊達の道の駅で乗車するメンバーとスタッフを入れると今回の参加人数は52名の大所帯だ。大型バスは登山口まで行けずに25人乗りのマイクロバス2台にしたが、全員が乗り切れず、やむなく山岳会の西田さんに乗用车1台を出してもらった。



狩場山は道南の「せたな町」と「島牧村」



にまたがる標高1519.9mの山で道南の最高峰である。今日は千走(ちはせ)新道コースと呼ばれる登り4.3km、往復8.6km



の歩きである。

登山口から頂上までの標高差は820mだから一般的に登る時間は3時間程度だが、50人を超える大人数だと3~4割増しの登山時間になると予想して登り3時間半から4時間を見込んだ。出発時は頂上付近に雲がかかっているだけでまずまずの天気だ。

登山口から頂上までぬかるみがあったり、笹の根につまずいたり、傾斜がきつくなったりする。息が上がらないよう登るスピードをスローダウンする。

登り始めてすぐに一人がひざの不調を訴え、C班のサブリーダー河村勝さんが付き添い、下山し、もう一人は9合目を過ぎてこれ以上登れないとリタイアし、B班のサブリーダー近藤さんが付き添い、下山した。



結局 48 名が頂上にたどり着いた。



頂上で、じっとしていると寒く感じ、長居ができない。昼食も 15 分ほどで終え、下山を開始した。気温はスタッフが持っていた簡易気温計をみると 8℃だった。「どおりで寒いわけだ」。

頂上を下りる間際になって雨が降ってきた。メンバーに「カッパを着てください」



とリーダーが指示を出した。風も強くなってきた。

中腹あたりから雷雨である。雷は遠くで鳴っているが侮れない。雨もみぞれまじりで、時々霞（あられ）が降った。下山口の到着は 4 時を過ぎており、最後の班は下山終了が 4 時半だった。

冷たくなった体をあたためるには温泉入浴だ。黒松内町にある温泉「ぶなの森」に

立ち寄って、汗を流し、冷え切った体をほぐした。

幌別に戻ったのは 21 時を過ぎていた。ケガなく、事故なく登山を終えることができた。

ご協力をいただいた会員のみなさん、ありがとうございました。お疲れ様でした。

参加者	
登別山岳会 19 人参加	
A 班	L 藤木、S L 西田、相馬、東海林、鈴木（徳）
B 班	L 山岸、S L 近藤、後藤、及川、笹山
C 班	L 永宮、S L 河村勝、前野、斉藤
D 班	L 澤田、S L 小山内、渡辺、河村（キ）、藤木（た）
一般	33 人

（記録 澤田）